

菌興号種駒



安全・安心・美味しい

日本産原木しいたけ栽培を応援します



全国森林組合連合会



115
(登録品種)
低中温

発生温度
(成長適温)

8℃以下
(8～16℃)

発生時期

晩秋～春

ハウス栽培

露地栽培

特徴

超厚肉美味の「ジャンボしいたけ」で有名。高品質の「どんこ」「こうこ」が採れる。



115の特性

- 晩秋は、ほだ場の最低気温が8℃以下になる頃から発生が始まる。春は、低温刺激を受けた後、ほだ場最高気温が10℃～13℃位の日が続くと本格的に発生する。
- 種駒の場合、発生最盛期は植菌2年目の晩秋～春。形成菌を植えて、適切に管理すると初年度からよく発生する。
- 冬季間に、ハウス栽培、袋かけ、ビニール被覆などで成長促進すると大型のきのこになる。



141
(登録品種)
低中温

発生温度
(成長適温)

8℃以下
(8～16℃)

発生時期

晩秋～春

ハウス栽培

露地栽培

特徴

「厚肉」きのこで肉質が硬い。115号よりもやや小振りである。気温が高くなっても柄が短い。



141の特性

- 栽培特性は115号に準ずる。
- 形成菌を植えると植菌年から良質のきのこが発生する。
- 浸水や散水によって発生しやすいので、冬期間のハウス生しいたけ栽培に適する。



169
(登録品種)
低中温

発生温度
(成長適温)

8℃以下
(8～16℃)

発生時期

冬～春

露地栽培

特徴

中肉で大型、傘周縁の巻き込みが強く、欠けにくい。市場評価が極めて高い。



169の特性

- 発生は、ほだ場の最低気温が8℃以下で始まり、5℃以下の低温刺激を受けた後多くなる。春は、ほだ場最高気温が10℃以上の日が続くと集中発生する。
- 発生の最盛期は3年ほだ木で晩生系である。ほだ木寿命が長く、古ほだになっても、発生量や葉型が落ちにくい。
- 冬風当たりが弱く、暖かいほだ場が適する。



170
(登録品種)
低中温

発生温度
(成長適温)

8℃以下
(8～16℃)

発生時期

冬～春

露地栽培

特徴

中肉で大型、傘周縁の巻き込みが強く、ヒダの仕上がりが美しい。冬菇から香信まで幅広い品柄が採れる。



170の特性

- 栽培特性は169号に準ずる。
- 発生の最盛期は3年ほだ木、冬から春にかけて発生が多い。
- ほだ場は、暖かくて、やや湿度の高い場所が適する。
- 古ほだになっても良質のきのこが採れる。



101
(登録品種)
低中温

発生温度
(成長適温)

8℃以下
(8～16℃)

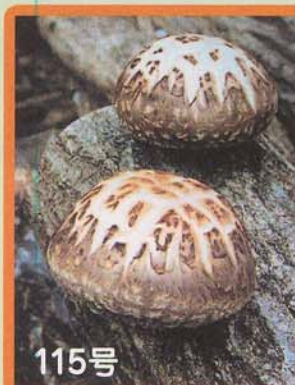
発生時期

晩秋～春

露地栽培

101の特性

- 肉質が硬く、ヒダが緻密で雨子でも乾燥仕上がりが良い。
- ほだ場は、やや多湿気味の場所が適する。



115号

きのこ栽培の決め手は良いほだ木を作ることです。また、きのこの品質(肉厚、肉質、花模様)は成長条件によって変わります。良いほだ場を選定し適切な管理を行ってください。



193

(登録品種)

低中温

発生温度
(成長適温)

8℃以下
(8～16℃)

発生時期

晩秋～春

露地栽培

特徴

中肉で大型、傘は円形、丸山型。ヒダは密で美しい。冬菇から香信まで幅広い品柄が採れる。



193の特性

- 晩秋の発生は、ほだ場の最低気温が8℃以下になる頃から始まり、5℃以下の低温刺激を受けた後は多くなる。春は、ほだ場最高気温が10℃以上の日が続くと発生が始まる。
- 発生の最盛期は3年ほだ木で晩生系である。ほだの寿命が長く、古ほだになっても、発生量が多く、葉型大きい。



新品種

240

(登録出願中)

中低温

発生温度
(成長適温)

11℃以下
(8～18℃)

発生時期

晩秋～春

露地栽培

特徴

傘周縁の巻き込みが強く、冬菇から香信まで幅広い品柄の生産に適す。



240の特性

- 植菌2年目の秋11℃以下の最低気温の日が数日続くと発生が始まるので、この時期にほだ起こしを行う。
- 2年ほだ木の秋の発生比率は、通常年で30%程度。暖冬年には、晩秋から春まで断続的に発生する。
- ほだ場は、暖かくて、やや湿度の高い場所が好適である。環境適応幅が広く、多収穫。



327

(登録品種)

中温

発生温度
(成長適温)

14℃以下
(8～20℃)

発生時期

秋・春

露地栽培

特徴

中肉で中葉～大葉。巻き込みが強くパレにくい。大型の香信が採れる。



327の特性

- 植菌2年目の秋、14℃以下の最低気温の日が数日続くとほだ起こしをすると集中発生する。
- 秋発生の多い品種で、秋は1ないし2回の発生のピークがある。冬から春にかけては分散発生するので、ほだ木一代の収量が多い。



324

(登録品種)

中温

発生温度
(成長適温)

14℃以下
(8～20℃)

発生時期

秋・春

ハウス栽培

露地栽培

特徴

肉質が極めて硬いので、独特の歯ごたえがあり美味しいと好評。



324の特性

- 最低気温が14℃以下の日が数日続くと発生が始まるので、この時期にほだ起こしを行う。
- 秋から春までに数回分散発生する。秋子率は30%。
- 腐朽力が強く、良いほだ木を作ると1年目から走り子が発生する。
- ほだ場は日差しの強い場所や乾燥地を避ける。やや湿度の高い場所が適する。



241

(登録品種)

中低温

発生温度
(成長適温) 10℃以下(8～18℃)

発生時期 晩秋～春

露地栽培



248

(登録品種)

中低温

発生温度
(成長適温) 10℃以下(8～18℃)

発生時期 晩秋～春

露地栽培



特徴

中肉で芽数が多い。大きさは中葉が中心となる。

241・248の特性

- 植菌2年目の秋、ほだ場の最低気温10℃以下の日が続く頃から発生が始まる。冬から春にかけては、ほだ場の最高気温が8℃以上になると発生する。
- ほだ木が作りやすく、家庭用栽培に適する。

生しいたけ(浸水)用品種



697
(登録品種)
高中温

発生温度	18℃以下
成長温度	13℃～28℃
好適湿度	75%～90%



697の特徴・特性

- 肉質が硬く、足や傘の膜が白い。裏出して美しく、市場性が高い。形成菌を多孔植菌し、ほだ化をすすめれば植菌年の使用が可能。
- 夏に強い品種。暑さの中でも、発生量や品質が落ちにくく、厚肉のきのこが採れる。
- 冬季の休養や事前管理のためには15℃以上の温度を確保する。

使用時期	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
1年目												
2年目												
3年目												

※1年目はオガ・形成菌に限る



702
(登録品種)
高中温

発生温度	18℃以下
成長温度	13℃～28℃
好適湿度	70%～90%



702の特徴・特性

- 傘は円形、丸山型、色は明茶褐色。肉は厚く硬さは普通。
- 形成菌を多孔植菌し、ほだ化をすすめれば植菌年に2回程度の使用が可能となる。冬季に保温・保湿すれば、周年栽培が可能である。
- 散水によって芽数を増やしやすい豊産型の品種。
- 湿度は697よりも若干低めに管理する。梅雨時期など多湿時には、加温や換気によってハウス内湿度を下げる。

使用時期	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
1年目												
2年目												
3年目												

※1年目はオガ・形成菌に限る



新品種

706
(登録出願中)
高中温

発生温度	18℃以下
成長温度	13℃～28℃
好適湿度	70%～90%



706の特徴・特性

- 傘は円形、丸山型、色は茶褐色。肉は厚く、膜切れが遅い。
- 形成菌を多孔植菌し、ほだ化をすすめれば植菌年の9月中旬以降の使用が可能。冬季に保温・保湿すれば、周年栽培が可能である。
- 水温18℃以下、芽出し温度は20℃前後が適す。
- 休養は20℃前後であれば通常30日程度。
- 冬季使用は15℃以上のハウス内で休養させる。

使用時期	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
1年目												
2年目												

※1年目はオガ・形成菌に限る

種菌一覧

	しいたけ														なめこ			ひらたけ	きくらげ	くりたけ	えのきたけ
	1	1	1	1	1	2	2	2	3	3	6	7	7	極	早	晩	ひ	冬	き	く	え
	6	7	9	1	4	0	4	4	4	2	2	9	0	0	早	生	生	ら	し	ら	き
	9	0	3	5	1	1	0	1	8	4	7	7	2	6	生	生	生	た	め	ら	た
種駒 (1,000個入)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
種駒 (500個入)				○					○	○	○				○		○			○	○
オガ種菌				○	○		○	○		○		○	○	○	○	○	○	○			
形成菌				○	○							○	○	○							○

使用時期

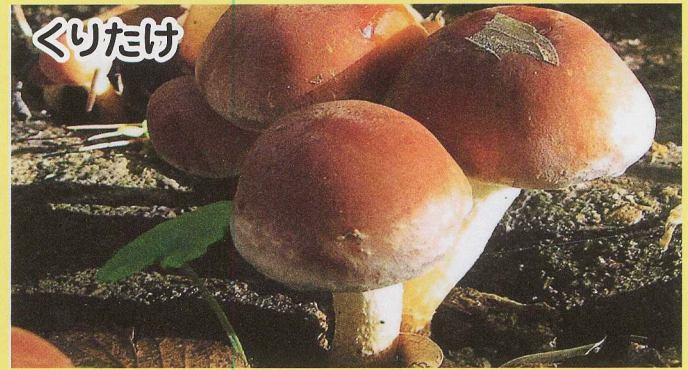
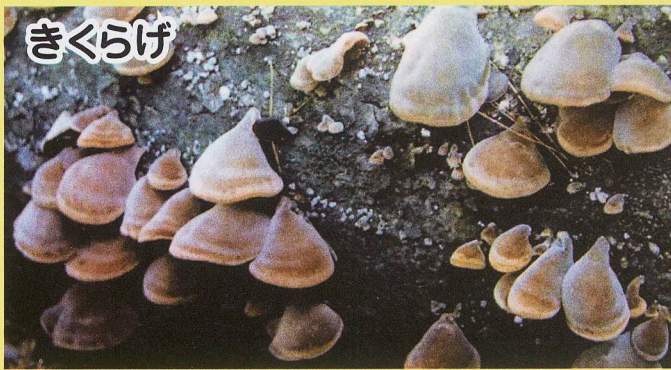
条件がそろえば
使用可 ■
使用時期 ■

※使用時期は標準的なもので、気象・地域・ほだ木作りによって変わります。

種菌の種類は、下のマークで表示しています。



原木栽培を応援します



原木栽培用各種きのこ品種

品 種	発生温度	種 菌	発 生 時 期												原 木 の 種 類		
			7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6			
な め こ	極 早 生	8℃~20℃	駒														ナラ類・サクラ類・カエデ類・シデ類・ シイ類・クルミ類・ヤナギ類・トチノキ・ ブナ・クヌギ・クリ
	早 生 (ジャンボなめこ)	8℃~15℃	オガ・駒														
	晩 生	5℃~15℃	オガ・駒														
ひらたけ	10℃~20℃	オガ・駒															エノキ・クルミ類・ヤナギ類・ポプラ・ ハンノキ・ドロノキ・ウコギ類
冬しめじ(ひらたけ) 晩 生	5℃~18℃	オガ															
えのきたけ	5℃~18℃	オガ															エノキ・カキ・ケヤキ・ムクノキ
きくらげ	10℃~25℃	駒															アカメガシワ・エノキ・カキ・クワ
くりたけ	8℃~18℃	駒															ナラ類・クリ・クヌギ・サクラ類

○は1年目から発生

原木栽培用植菌資材

しいたけ種菌



種駒



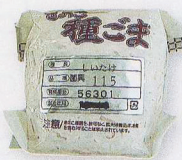
▲形成菌 1ケース
(460ヶ/1シート×22シート)
※12.7mm形成菌専用キリを
ご使用ください。
ストッパー付きもあります。



▲種菌 (オガ菌)
1瓶 (1,300cc入)



▲種駒
1函 (1,000個入)



▲種駒
1袋 (500個入)

専用キリ



形成菌用12.7mm (木工用・ハイス材)



駒用8mm (木工用・ハイス材)



12.7mm・8mm ストッパー付きキリ
(マークキリ)



駒用打ち込み器

林業経営の近代化と山村の振興対策を目的としてすすめられている国の色々な施策を受けとめて、民有林経営の担い手である森林組合系統は、その中心となって組織を結集して活躍をしています。また森林組合系統は組合員の林業経営の発展に寄与するため指導、販売、購買、共済事業等の各種事業を系統一丸となって推進しています。

このような系統を中心とした林業の近代化と協業化の推進に併せ、林業生産性の向上が強く叫ばれております。

林業からの生產品、つまり林産物には、木材、苗木、緑化木、それにしいたけに代表される各種キノコ類がありますが、近年とくに菌食の効用が各方面から注目され、その食品としての有用性が改めて認識されだされている中で、しいたけ栽培事業は、最も手軽でしかも確実に収益があがる事業として今や全国津々浦々ですすめられてきております。

このように林産物の中でも、生産期間が極めて短いため資本回転率が早くしかも収益性の高いしいたけ栽培事業について、全森連としては積極的に取り組んでおります。

全森連は、生產品の流通を円滑化することはもちろん、とくにその栽培に必要な種駒、種菌、その他関連資材については、よい品を適正価格でしかも速やかにお届け出来るよう、財団法人日本きのこセンターと提携し、正しい栽培技術の普及、指導を含めて、皆様により良質のしいたけを作っていただくよう努力しております。

種駒等関係資材について小冊子が皆様のしいたけ栽培に少しでも役立つことが出来れば幸いと存じます。なお、ご注文、ご照会、価格についてのお問い合わせはもよりの森林組合にお願いいたします。

全国森林組合連合会

財団法人 日本きのこセンター

本部/〒680-0845 鳥取市富安1丁目84
TEL(0857)22-6161(代表)
FAX(0857)29-1292
<http://www.kinokonet.com/>

技術員駐在所

- 九州事務所 〒883-0033 宮崎県日向市塩見1506-1 ☎(0982)52-5551 FAX(0982)52-1869
- 大分支所 〒879-5521 大分県由布市挾間町鬼瀬423-1 ☎(097)583-5608 FAX(097)583-5601
- 四国事務所 〒795-0071 愛媛県大洲市新谷室戸乙1523番地 ☎(0893)25-6199 FAX(0893)25-6197
- 中国事務所 〒689-1125 鳥取県鳥取市古郡家211 ☎(0857)51-8132 FAX(0857)51-8133
- 三次支所 〒728-0006 広島県三次市畠敷町916-2(三次地方卸売市場内) ☎(0824)63-1226 FAX(0824)63-2012
- 近畿駐在 〒689-1125 鳥取県鳥取市古郡家211 ☎(0857)51-8130 FAX(0857)51-8133
- 中部駐在 〒481-0038 愛知県北名古屋市徳重広畑28 ハイツ友103号 ☎(0568)26-3520 FAX(0568)26-3521
- 北陸駐在 〒920-0024 石川県金沢市西念4丁目7-1(金沢中央卸売市場 事務所内) ☎(076)223-2956 FAX(076)222-5156
- 静岡駐在 〒410-2407 静岡県伊豆市柏久保118(伊豆の国農協修善寺宮農センター内) ☎(0558)72-6675 FAX(0558)72-0894
- 宇都宮事務所 〒329-1105 栃木県宇都宮市中岡本町2925-14 ☎(028)673-1238 FAX(028)673-1090
- 久喜連絡所 〒346-0025 埼玉県久喜市樋ノ口大野50-1(全農椎茸事業所内) ☎(0480)23-1696
- 盛岡事務所 〒020-0861 岩手県盛岡市仙北2-2-24 ☎(019)636-4059 FAX(019)635-1359